



発足から20年！これからも

笑顔あふれる「土曜朝市」

かのや土曜朝市実行委員会

かのや土曜朝市実行委員
会は、年末年始を除く毎

どを、生産者である会員が直接
販売しています。

週土曜日、本町のかのやイベン
ト広場で開催されている「かの
や土曜朝市」を運営する組織で、
平成9年に発足しました。

もともとは商店街が寂しくな
る中で、少しでもまちを活気づ
けようと有志が集まり、始めら
れました。会員店舗数は、多い
年には約60軒という頃もあつた
ようですが、現在は約25軒程度

で運営されています。

会長の日高一夫さんは「出店
が自らの生活の励みになってい
るといふ会員も多い。私もここ
で販売するために、農業につい
て改めて勉強するようになり、
毎日充実している。土曜朝市に
は1回500円で出店できる。
退職後に農業をし始めたとい
う人には、ぜひメンバーになっ
てもらいたい」と話します。

朝市をのぞいてみると、会員
も客も自由で、楽しい雰囲気
が伝わってきます。2か月に1度
会員同士が商品を持ち寄って抽
選会も催されています。

日高さんは語ります。「こだ
わりの品を会員も自由に販売し
て、お客様も自由に見て回って
もらうのが『かのや土曜朝市』。
ここで、すがすがしい早朝を迎
え、楽しい情報交換の場として
いただけたら、本当にうれしい」



朝市は午前7時から開始としているが、午前6時頃から既に客が入り出し、活気を帯びる。楽しみにしている客を待たせることはしない。



和やかな雰囲気も魅力の一つ。店の前で、客同士や、客と会員が長く語らう姿も、おなじみの風景となっている。



「今の倍以上の店舗が並ぶ頃もあつた」と懐かしむ日高さん。目下、会員(出店登録者)を募集中。

編集後記

低 学年から学校で英語を学ぶ子どもたち。市内ではそれが当たり前に行われていますが、P14～P15にもあるように実は鹿屋市独自の取り組みなんです。鹿屋市は教育にも力を入れています！（前田）

CTでもたらされる多くの情報。でも重要性や正確さなどは様々。「不要な情報に流されず、真に必要なかつ高精度の情報を、どのように自分で取捨選択・活用するか」ということも大切だと思えます。(原田)

お となの香り茶」を製造されている緑峰園の皆さんをはじめ、素敵な人やアイデアに触れることができ、とても刺激になりました。鹿屋市の「素敵」を、これからも見つけていきたいです！（榎下）

お便り&メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。